

令和3年度(第84回)通常総会資料

日時 令和3年2月17日(水曜日) 10:30~11:35
場所 東京都千代田区一ツ橋 2-1-1
如水会館2階 オリオンルーム

頁

【監査報告】			1
【令和2年度の総括と令和3年度の目標】			2
【決議事項】			
第1号議案	令和2年度決算報告承認の件	定款第39条の1および2	3
第2号議案	令和3年度役員選任の件	定款第23条	10
第3号議案	名誉会員委嘱の件	定款第5条の5	11
【報告事項】			
報告1	令和2年度事業報告	定款第39条の1および2	12
	1. 令和2年度通常総会報告		12
	2. 会員動向報告		12
	3. 事業報告(公1:編集出版事業)		14
	4. 事業報告(公2:研究会事業)		14
	5. 事業報告(公3:表彰事業)		18
	6. 事業報告(他1:共益事業)		20
報告2	令和3年度事業計画	定款第38条の2	23
報告3	令和3年度収支予算	定款第38条の2	26
報告4	永年会員昇格者	定款第5条の4	29
【参考資料】	(付表1) 令和2年度一般正味財産の構成表		30



公益社団法人 有機合成化学協会

令和3年2月17日

担当者	事務局長	会長

【監査報告】

監査報告書

私たち監事は、令和2年1月1日から令和2年12月31日までの事業年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。


(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和3年1月19日

公益社団法人有機合成化学協会

監事 岩澤 伸治

岩澤伸治 


公益社団法人有機合成化学協会

監事 田上 克也

田上克也 

公益社団法人有機合成化学協会

監事 山川 一義

山川一義 

以上

令和 2 年度の総括と令和 3 年度の目標

令和 2 年度における各事業の概要、法人管理・運営状況と令和 3 年度の目標について説明する。

【令和 2 年度の課題と取り組み】

新型コロナウイルス感染症の拡大により 3 月以降殆どの行事を計画通り実施できなくなり会員の皆様に多大なご迷惑とご不便をお掛けした。

このようなコロナ禍、活動を徐々に再開すべく 5 月中旬の非常事態宣言の一部解除に合わせて以下の基本方針を策定した。

- ① 会員の命と健康を守ることを最優先に、会員への価値提供を継続する。
- ② コロナ終息後に従来の協会活動に戻るという発想でなく、これを奇貨として、「新常態における非接触型の協会活動」も試行し推進する。
- ③ 全国の感染状況を勘案しながら、先行き 3 ヶ月単位での活動方針を共有する。

この方針に基づき、濃厚接触が避けられない場合を除き、可能な限りオンラインによる非接触型で事業を実施した。

従来の Face to Face で得られていたインフォーマルな情報交換をどう担保するかなど課題は多いが、試行錯誤で進めた今回の経験や知見は「新常態における非接触型の活動」の実現に向けた指針になると確信する。

一方、会員サービス強化の一環として新規会員管理システム(クラウド型)の導入を進め、本年 9 月に導入が完了した。このシステムにより会費の支払い方法の多様化および自身の登録情報へのアクセスが可能となった。

また、80 周年記念事業委員会が発足し、令和 3 年度以降の具体的な計画が審議され、令和 4 年 7 月の 80 周年記念事業開催に向けて本格的に始動した。

【編集・出版事業】

有機合成化学協会誌は予定通り 12 号を刊行した。5 月特集号「ニューモダリティ；有機合成化学の新しい可能性」をテーマに、産学併せて 13 編の総合論文を掲載した。また、出版事業としては、「現代有機合成のための触媒反応(仮)」を東京化学同人から発行予定である。さらに、協会誌の海外送達の最適化を図ることでコスト削減を達成した。

【研究会事業】

新型コロナウイルスの影響を受けて会場開催が実施できず、オンライン方式を採用した。

◆「第 117 回有機合成シンポジウム(九州・山口支部主催)」は会場開催を翌年 6 月に延期し、一般研究発表をオンラインで 10 月に実施した。

◆「2020 年度前期(春季)有機合成化学講習会」は開催できず、名称を「2020 年度有機合成化学講習会」としてオンラインで 11 月に実施した。

◆「A I 研究部会」は計画通り公開講演会、勉強会を実施したが、「ニューモダリティ研究部会」は公開講演会が実施できず、勉強会のみとなった。

◆「第 37 回有機合成化学セミナー(中国・四国支部主催)」は会場開催が叶わず、翌年に延期を決定し、Mukaiyama Award、有機合成化学奨励賞の各受賞講演のみオンラインで 9 月に実施した。

その他、各支部主催の事業においても中止の一方でオンライン開催を積極的に取り入れた。

【表彰事業】

令和 2 年度も、本会の表彰が揃い、内容的にも非常に高いレベルを維持した。本会の 3 賞、企業の寄付に基づく高砂香料国際賞「野依賞」と研究企画賞、および Mukaiyama Award は例年通り実施し、適宜オンラインによる参加も併用した。また、企業冠賞は昨年同様 5 賞となった。

【相互交流】

新春特別フォーラムは実施できたが、YUGOKAFe、ならびにゆうごう会は中止となった。

【財務環境】

令和 2 年度は、収益 106.2 百万円、費用 104.7 百万円、収支 1.5 百万円となり収益が増加した。

【令和 3 年度目標】

新型コロナウイルス感染症の終息が見られず、新春特別フォーラムは早々実施を見送った。さらに通常総会も会場定員を減らしオンライン同時配信の実施を予定している。その他各種事業も会場開催を目標にしつつ、オンラインを活用した方式も視野に入れている。一方、中期的には、オンライン化の利点を活かし支部の垣根を越えたボーダレスな参加スタイルを採り入れることで、より活発な事業を展開していきたい。

また、学生を含む若手研究者の発表の機会を増やし、協会として「新たな知の交流の場」の創造に取り組んでいく所存です。

【決議事項】

第1号議案 令和2年度決算報告承認の件

定款39条に定めるところにより、p.3~9に示す諸表のとおり令和2年度決算書類を承認する。

表1・1 令和2年度正味財産増減計算書

(令和2年1月1日から令和2年12月31日まで)

(単位：円)

科目	R2決算 A	R2補正予算 B*	R1決算 C	A-B	A-C
【一般正味財産増減の部】					
1. 経常増減の部					
経常収益	106,195,404	116,404,965	133,521,441	▲ 10,209,561	▲ 27,326,037
特定資産運用益					
特定資産受取利息	829,944	805,500	804,273	24,444	25,671
退職特定資産受取利息	7,359	3,000	3,091	4,359	4,268
受取会費					
正会員費受取会費	65,952,969	66,001,300	68,145,474	▲ 48,331	▲ 2,192,505
事業収益	28,919,577	36,913,100	52,605,026	▲ 7,993,523	▲ 23,685,449
編集出版事業収益	12,795,477	12,882,100	12,687,477	▲ 86,623	108,000
研究会事業収益	7,824,100	15,831,000	33,217,549	▲ 8,006,900	▲ 25,393,449
表彰事業収益	8,300,000	8,200,000	6,700,000	100,000	1,600,000
受取寄付金	9,055,728	9,728,800	7,347,319	▲ 673,072	1,708,409
共催分担金	730,000	1,090,000	1,990,000	▲ 360,000	▲ 1,260,000
国際賞基金	4,001,631	4,000,000	3,760,267	1,631	241,364
Mukaiyama Award基金	879,297	1,200,000	1,597,052	▲ 320,703	▲ 717,755
受取一般寄付金	3,444,800	3,438,800	0	6,000	3,444,800
雑収益	1,429,827	2,953,265	4,616,258	▲ 1,523,438	▲ 3,186,431
受取利息	827	3,265	858	▲ 2,438	▲ 31
雑収益	8,000	170,000	54,000	▲ 162,000	▲ 46,000
懇親会参加料収益	1,421,000	2,780,000	4,561,400	▲ 1,359,000	▲ 3,140,400
経常費用	104,712,042	123,992,718	132,885,469	▲ 19,280,676	▲ 28,173,427
事業費および管理費	104,712,042	123,992,718	132,885,469	▲ 19,280,676	▲ 28,173,427
編集出版事業費	23,973,937	25,133,366	25,735,967	▲ 1,159,429	▲ 1,762,030
研究会事業費	7,497,518	17,158,210	27,712,323	▲ 9,660,692	▲ 20,214,805
表彰事業費	12,558,619	13,273,777	12,180,096	▲ 715,158	378,523
給料手当	29,894,534	31,943,412	29,636,135	▲ 2,048,878	258,399
アルバイト費	2,484,999	2,490,000	2,464,999	▲ 5,001	20,000
退職給付費用	2,607,359	2,600,000	2,803,091	7,359	▲ 195,732
その他人件費（福利厚生費）	5,868,736	6,140,038	5,923,593	▲ 271,302	▲ 54,857
懇親会費	2,773,963	5,190,000	7,578,591	▲ 2,416,037	▲ 4,804,628
会議費	735,551	1,335,000	920,834	▲ 599,449	▲ 185,283
旅費交通費	968,026	2,545,000	3,914,758	▲ 1,576,974	▲ 2,946,732
通信費	1,105,783	1,745,515	1,228,437	▲ 639,732	▲ 122,654
什器備品費	739,960	500,000	842,760	239,960	▲ 102,800
事務用品・リース費	1,583,075	2,000,000	1,924,117	▲ 416,925	▲ 341,042
水道光熱費	176,759	290,000	209,665	▲ 113,241	▲ 32,906
事務所賃借料	4,393,400	4,448,400	4,387,740	▲ 55,000	5,660
諸謝金	1,210,000	1,200,000	1,210,000	10,000	0
雑費（税・手数料・会費・IT）	6,139,823	6,000,000	4,212,363	139,823	1,927,460
当期経常増減額	1,483,362	▲ 7,587,753	635,972	9,071,115	847,390
2. 経常外増減の部					
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産増減額					
一般正味財産期首残高	304,697,192	304,697,192	304,061,220	0	635,972
一般正味財産期末残高	306,180,554	297,109,439	304,697,192	9,071,115	1,483,362
【指定正味財産増減の部】					
1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金					
特定資産運用益計	4,000,047	4,000,050	4,000,039	▲ 3	8
特定資産受取利息	47	50	39	▲ 3	8
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	0
一般正味財産への振替額	▲ 4,001,631	▲ 4,000,000	▲ 3,760,267	▲ 1,631	▲ 241,364
当期指定正味財産増減額	▲ 1,584	50	239,772	▲ 1,634	▲ 241,356
指定正味財産期首残高	6,287,060	6,287,060	6,047,288	0	239,772
指定正味財産期末残高	6,285,476	6,287,110	6,287,060	▲ 1,634	▲ 1,584
2. Mukaiyama Award基金					
特定資産運用益計	75	100	91	▲ 25	▲ 16
特定資産受取利息	75	100	91	▲ 25	▲ 16
受取寄付金	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	▲ 879,297	▲ 1,200,000	▲ 1,597,052	320,703	717,755
当期指定正味財産増減額	▲ 879,222	▲ 1,199,900	▲ 1,596,961	320,678	717,739
指定正味財産期首残高	7,261,642	7,261,642	8,858,603	0	▲ 1,596,961
指定正味財産期末残高	6,382,420	6,061,742	7,261,642	320,678	▲ 879,222
【正味財産】					
正味財産期末残高	318,848,450	309,458,291	318,245,894	9,390,159	602,556

* 新型コロナウイルス感染症の影響を補正；令和2年12月度理事会(2020/12/02)で承認済み。

表 1・2 令和 2 年度正味財産増減内訳表(1/3)

(令和2年1月1日から令和2年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
【一般正味財産増減の部】							
1. 経常増減の部							
経常収益計	13,229,099	9,204,110	12,850,162	52,102,846	3,350,587	15,458,600	106,195,404
特定資産運用益	2,025	2,550	825,369				829,944
編集出版特定資産受取利息	2,025						
研究会特定資産受取利息		2,550					
表彰特定資産受取利息			825,369				
退職特定資産受取利息						7,359	7,359
受取会費				52,102,846	1,978,589	11,871,534	65,952,969
個人会員費受取会費				27,299,240	1,036,680	6,220,080	34,556,000
法人会員費受取会費				23,234,271	882,314	5,293,884	29,410,469
団体会員費受取会費				126,400	4,800	28,800	160,000
学生会員費受取会費				1,442,935	54,795	328,770	1,826,500
事業収益	12,795,477	7,824,100	7,000,000		1,300,000		28,919,577
編集出版事業収益	12,795,477						12,795,477
会誌事業収益	3,790,000						3,790,000
広告事業収益	8,455,700						8,455,700
別冊事業収益	120,560						120,560
会誌関係雑収益	74,000						74,000
単行本印税収益	127,291						127,291
複写権使用料収益	227,926						227,926
研究会事業収益		7,824,100					7,824,100
シンポジウム事業収益		695,000					695,000
講習会事業収益		5,671,100					5,671,100
懇談会事業収益		1,458,000					1,458,000
見学会事業収益							
表彰事業収益			7,000,000		1,300,000		8,300,000
企業冠賞事業収益			7,000,000				7,000,000
研究企画賞事業収益					1,300,000		1,300,000
その他表彰事業収益							
寄付金収益	431,597	1,377,460	5,024,793		71,998	2,149,880	9,055,728
受取寄付金	431,597	1,377,460	5,024,793		71,998	2,149,880	9,055,728
雑収益						1,429,827	1,429,827
受取利息						827	827
雑収益						8,000	8,000
懇親会参加料収益						1,421,000	1,421,000

表 1・3 令和 2 年度正味財産増減内訳表(2/3)

(令和2年1月1日から令和2年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
経常費用	42,863,733	30,694,708	18,059,418		2,923,060	10,171,123	104,712,042
事業費	42,863,733	30,694,708	18,059,418		2,923,060		94,540,919
編集出版事業費	23,973,937						23,973,937
印刷製本費	11,349,998						11,349,998
用紙費	3,477,980						3,477,980
原稿料・校正費	556,000						556,000
編集費	198,008						198,008
送達費	7,145,565						7,145,565
別冊作成費	341,770						341,770
電子出版費	904,616						904,616
研究会事業費		7,497,518					7,497,518
シンポジウム費		1,194,235					1,194,235
講習会費		2,807,215					2,807,215
懇談会費		714,751					714,751
見学会事業費							
研究会議費		67,200					67,200
事務委託費		2,474,117					2,474,117
支払寄付金		240,000					240,000
表彰事業費			12,447,663		110,956		12,558,619
表彰事業費			1,910,843				1,910,843
企業冠賞費用			5,655,892				5,655,892
研究企画賞費					110,956		110,956
国際賞費用			4,001,631				4,001,631
Mukaiyama Award事業費			879,297				879,297
給料手当	10,460,698	11,956,620	2,989,155		1,498,613		26,905,086
アルバイト費	966,168	1,104,334	276,083		138,414		2,484,999
退職給付費用	912,368	1,042,840	260,710		130,707		2,346,625
其他人件費(福利厚生費)	2,053,591	2,347,263	586,816		294,200		5,281,870
会議費	206,525	309,819	68,842		34,452		619,638
旅費交通費	254,225	381,375	84,742		42,409		762,751
通信費	312,516	468,822	104,172		52,133		937,643
什器備品費	221,966	332,981	73,989		37,028		665,964
事務用品・リース費	474,877	712,388	158,292		79,217		1,424,774
水道光熱費	53,024	79,545	17,675		8,845		159,089
事務所賃借料	1,317,888	1,977,030	439,296		219,846		3,954,060
雑費(税・手数料・会費・IT)	1,655,950	2,484,173	551,983		276,240		4,968,346

表 1・4 令和 2 年度正味財産増減内訳表(3/3)

(令和2年1月1日から令和2年12月31日まで)

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
73 管理費						10,171,123	10,171,123
74 給料手当						2,989,448	2,989,448
75 退職給付費用						260,734	260,734
76 その他人件費(福利厚生費)						586,866	586,866
77 懇親会費用						2,773,963	2,773,963
78 会議費						115,913	115,913
79 旅費交通費						205,275	205,275
80 通信費						168,140	168,140
81 什器備品費						73,996	73,996
82 事務用品・リース費						158,301	158,301
83 水道光熱費						17,670	17,670
84 事務所賃借料						439,340	439,340
85 諸謝金						1,210,000	1,210,000
86 雑費(税・手数料・会費・IT)						1,171,477	1,171,477
87 当期経常増減額	▲ 29,634,634	▲ 21,490,598	▲ 5,209,256	52,102,846	427,527	5,287,477	1,483,362
88 2. 経常外増減の部							
89 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
90 計上外費用	0	0	0	0	0	0	0
91 当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
92 3. 一般正味財産増減額							
93 一般正味財産期首残高							304,697,192
94 一般正味財産期末残高							306,180,554
95 当期一般正味財産増減額							1,483,362
96 【指定正味財産増減の部】							
97 1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金							
98 指定正味財産運用益			▲ 1,584				▲ 1,584
99 特定資産受取利息			47				47
100 受取寄付金			4,000,000				4,000,000
101 一般正味財産への振替額			▲ 4,001,631				▲ 4,001,631
102 指定正味財産期首残高			6,287,060				6,287,060
103 指定正味財産期末残高			6,285,476				6,285,476
104 2. Mukaiyama Award基金							
105 指定正味財産運用益			▲ 879,222				▲ 879,222
106 特定資産受取利息			75				75
107 受取寄付金							
108 一般正味財産への振替額			▲ 879,297				▲ 879,297
109 指定正味財産期首残高			7,261,642				7,261,642
110 指定正味財産期末残高			6,382,420				6,382,420
111 【正味財産期末残高】							
112 正味財産期末残高							318,848,450

【参考】表 1・5 主な科目の対予算・対前年度決算比較

科 目	R2 年度予算との差額(千円)		R1 年度決算との差額(千円)		
	収益	費用	収益	費用	
受取会費収入	▲ 48	—	▲ 2,193*2	—	
受取一般寄付金	6	—	3,445*3	—	
事業	編集・出版	▲ 87	▲ 1,159	108	▲ 1,762*4
	研究会	▲ 8,007*1	▲ 9,661*1	▲ 25,393*5	▲ 20,215*5
	表彰	100	▲ 715	1,600*6	379
	雑費	—	140	—	1,927*7

*1 新型コロナウイルス感染症による支部研究会事業の中止等による減少(支部予算は補正せず)。

*2 受取会費減収内訳:個人▲705千円;法人▲414千円;学生▲1,074千円

*3 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に対する支援給付金の受給による増収(持続化給付金 2,000千円;家賃支援給付金 1,440千円)。

*4 編集委員会を Web 会議実施による旅費交通費の減少(対前年決算▲418千円)。学生会員電子版分の協会誌送達費の減少(対前年決算▲611千円)。

*5 研究会事業の中止または延期による減少。

*6 企業冠賞の賛同企業が4社から5社へ増加。

*7 WEB開催に必要なIT関連費の増加と新会員管理システムの導入費用。

表 1・6 令和 2 年度貸借対照表

令和2年12月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	90,354,778	100,595,230	▲ 10,240,452
未収収益	105,264	68,582	36,682
前払金	341,067	656,700	▲ 315,633
仮払金	269,200	348,675	▲ 79,475
流動資産合計	91,070,309	101,669,187	▲ 10,598,878
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
編集出版事業特定資産	24,321,053	24,319,028	2,025
研究会事業特定資産	29,520,644	29,518,094	2,550
表彰事業特定資産	202,389,448	201,564,079	825,369
国際賞基金	6,285,476	6,287,060	▲ 1,584
Mukaiyama Award基金	6,382,420	7,261,642	▲ 879,222
退職給付引当特定資産	26,622,251	24,014,892	2,607,359
特定資産合計	295,521,292	292,964,795	2,556,497
(2) その他固定資産			
差入保証金	4,698,000	4,698,000	0
電話加入権	127,284	127,284	0
その他固定資産合計	4,825,284	4,825,284	0
固定資産合計	300,346,576	297,790,079	2,556,497
資産合計	391,416,885	399,459,266	▲ 8,042,381
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	293,775	584,315	▲ 290,540
前受金	44,398,600	55,026,900	▲ 10,628,300
預り金	1,242,809	1,530,215	▲ 287,406
仮受金	11,000	57,050	▲ 46,050
流動負債合計	45,946,184	57,198,480	▲ 11,252,296
2. 固定負債			
退職給付引当金	26,622,251	24,014,892	2,607,359
固定負債合計	26,622,251	24,014,892	2,607,359
負債合計	72,568,435	81,213,372	▲ 8,644,937
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国際賞受託金	6,285,476	6,287,060	▲ 1,584
Mukaiyama Award基金	6,382,420	7,261,642	▲ 879,222
指定正味財産合計	12,667,896	13,548,702	▲ 880,806
(うち特定資産への充当額)	(12,667,896)	(13,548,702)	(▲ 880,806)
2. 一般正味財産	306,180,554	304,697,192	1,483,362
正味財産合計	318,848,450	318,245,894	602,556
負債及び正味財産合計	391,416,885	399,459,266	▲ 8,042,381

表 1・7 令和 2 年度貸借対照表内訳表

令和2年12月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			その他事業会計	法人会計	合計
	編集・出版事業会計	研究会事業会計	表彰事業会計			
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金					90,354,778	90,354,778
未収収益			68,582		36,682	105,264
前払金			38,095		302,972	341,067
仮払金			259,200		10,000	269,200
流動資産合計	0	0	365,877	0	90,704,432	91,070,309
2. 固定資産						
(1) 特定資産						
編集出版事業特定資産	24,321,053					24,321,053
研究会事業特定資産		29,520,644				29,520,644
表彰事業特定資産			202,389,448			202,389,448
国際賞基金			6,285,476			6,285,476
Mukaiyama Award 基金			6,382,420			6,382,420
退職給付引当特定資産					26,622,251	26,622,251
特定資産合計	24,321,053	29,520,644	215,057,344	0	26,622,251	295,521,292
(2) その他固定資産						
差入保証金					4,698,000	4,698,000
電話加入権					127,284	127,284
その他固定資産合計	0	0	0	0	4,825,284	4,825,284
固定資産合計	24,321,053	29,520,644	215,057,344	0	31,447,535	300,346,576
資産合計	24,321,053	29,520,644	215,423,221	0	122,151,967	391,416,885
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金		93,500			200,275	293,775
前受金	145,600	47,000			44,206,000	44,398,600
預り金					1,242,809	1,242,809
仮受金					11,000	11,000
流動負債合計	145,600	140,500	0	0	45,660,084	45,946,184
2. 固定負債						
退職給付引当金					26,622,251	26,622,251
固定負債合計	0	0	0	0	26,622,251	26,622,251
負債合計	145,600	140,500	0	0	72,282,335	72,568,435
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
国際賞受託金			6,285,476			6,285,476
Mukaiyama Award 基金			6,382,420			6,382,420
指定正味財産合計			12,667,896			12,667,896
(うち特定資産への充当額)			(12,667,896)			(12,667,896)
2. 一般正味財産	24,175,453	29,380,144	202,755,325	0	49,869,632	306,180,554
正味財産合計	24,175,453	29,380,144	215,423,221	0	49,869,632	318,848,450
負債及び正味財産合計	24,321,053	29,520,644	215,423,221	0	122,151,967	391,416,885

表 1・8 附属明細書

(単位：円)

1. 特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	編集出版事業特定資産	24,319,028	2,025	0	24,321,053
	研究会事業特定資産	29,518,094	2,550	0	29,520,644
	表彰事業特定資産	201,564,079	825,369	0	202,389,448
	国際賞基金	6,287,060	4,000,047	4,001,631	6,285,476
	Mukaiyama Award 基金	7,261,642	75	879,297	6,382,420
	退職給付引当特定資産	24,014,892	2,607,359	0	26,622,251
	特定資産計	292,964,795	7,437,425	4,880,928	295,521,292

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	24,014,892	2,607,359	0	0	26,622,251

表 1・9 財産目録

令和2年12月31日現在

貸借対照表科目	場所・物量等		使用目的等	金額 (円)
1 【流動資産】				
2 預金	振替貯金		運転資金	6,365,978
3 普通預金	みずほ銀行神田支店		運転資金	39,833,811
4 普通預金	みずほ銀行神田支店		運転資金	3,479,911
5 普通預金	みずほ銀行神田支店		運転資金	50,001
6 普通預金	三井住友信託銀行本店営業部		運転資金	2,254,061
7 普通預金	三菱UFJ信託銀行上野支店		運転資金	143,798
8 普通預金	北海道支部		運転資金	3,797,170
9 普通預金	東北支部		運転資金	8,226,398
10 普通預金	関東支部		運転資金	11,225,177
11 普通預金	東海支部		運転資金	4,075,143
12 普通預金	関西支部		運転資金	4,953,853
13 普通預金	中国四国支部		運転資金	2,281,911
14 普通預金	九州山口支部		運転資金	3,667,566
15 未収収益				105,264
16 前払金				341,067
18 仮払金	現金	手元保管	運転資金	269,200
19 流動資産合計				91,070,309
20 【固定資産】				
21 特定資産				
22 編集事業特定資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	2,092,723
23 普通預金	みずほ銀行神田支店		公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	2,228,330
24 定期預金	みずほ銀行神田支店		公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	10,000,000
25 三井住友信託銀行本店営業部	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	10,000,000
26 研究会事業特定資産	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究会事業の財源として使用している	4,520,644
27 定期預金	みずほ銀行神田支店		公益目的保有財産であり、運用益を研究会事業の財源として使用している	25,000,000
28 表彰事業特定資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	1,707,755
29 普通預金	三菱UFJ信託銀行上野支店		公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	7,681,693
30 定期預金	三井住友信託銀行本店営業部		公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	3,000,000
31 三井住友信託銀行本店営業部	定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	20,000,000
32 第326回利付国債			公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	100,000,000
33 東京都公募公債第786回			公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	50,000,000
34 千葉県平成29年度第3回公募公債			公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	20,000,000
35 退職給付引当資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部		5,362,251
36 定期預金	三井住友信託銀行本店営業部			21,260,000
37 国際賞基金	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	6,285,476
38 Mukaiyama Award基金	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	6,382,420
39 その他固定資産	差入保証金			4,698,000
40 電話加入金				127,284
41 固定資産合計				300,346,576
42 資産合計				391,416,885
43 【流動負債】				
44 未払金				293,775
45 前受金				44,398,600
46 預り金				1,242,809
47 仮受金				11,000
48 流動負債合計				45,946,184
49 【固定負債】				
50 退職給付引当金				26,622,251
51 固定負債合計				26,622,251
52 負債合計				72,568,435
53 正味財産				318,848,450

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券 償却原価法（定額法）

(2) 固定資産の減価償却の方法

法人税法に基づき一定額以下は費用処理している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンスリース：リース物件の所有権が借主に移転するを認められる以外のファイナンスリース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
編集出版事業特定資産	24,319,028	2,025	0	24,321,053
研究会事業特定資産	29,518,094	2,550	0	29,520,644
表彰事業特定資産	201,564,079	825,369	0	202,389,448
国際賞基金	6,287,060	4,000,047	4,001,631	6,285,476
Mukaiyama Award 基金	7,261,642	75	879,297	6,382,420
退職給付引当特定資産	24,014,892	2,607,359	0	26,622,251
合 計	292,964,795	7,437,425	4,880,928	295,521,292

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
編集出版事業特定資産	24,321,053	0	24,321,053	
研究会事業特定資産	29,520,644	0	29,520,644	
表彰事業特定資産	202,389,448	0	202,389,448	
国際賞基金	6,285,476	6,285,476	0	
Mukaiyama Award 基金	6,382,420	6,382,420	0	
退職給付引当特定資産	26,622,251	0	0	26,622,251
合 計	295,521,292	12,667,896	256,231,145	26,622,251

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債	100,000,000	101,620,000	1,620,000
地方債	70,000,000	70,534,030	534,030
合 計	170,000,000	172,154,030	2,154,030

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
国際賞事業費計上による振替額	4,001,631
Mukaiyama Award 事業費計上による振替額	879,297
合 計	4,880,928

第2号議案 令和3年度役員選任の件

本総会の終結をもって役員15名が退任となるので、定款23条に定めるところにより、役員候補者選出委員会において選出された役員候補者(表2)を参考にして、退任役員の後任として新任および重任役員(理事・監事；太字表記14名)を選任する。

表2 令和2年度役員および令和3年度役員候補者対照表(敬称略)

役職区分	令和3年度				
	令和2年度(参考)		新任候補	重任候補	所属
	退任	留任			
会長・代表理事	諫山 滋			秋山 隆彦	学習院大学
副会長・業務執行理事		松原 誠二郎			京都大学
副会長・業務執行理事		満田 勝			(株)カネカ
副会長・業務執行理事	秋山 隆彦		宮田 博之		宇部興産(株)
常務理事(事務局長)	岡村 眞延		-	-	
理事(編集担当)		岩淵 好治			東北大学
理事(編集担当)	西川 俊夫		生越 専介		大阪大学
理事(事業担当)		須貝 威			慶應義塾大学
理事(事業担当)	竹之内 一弥		長澤 和夫		東京農工大学
理事		青木 一真			第一三共(株)
理事		冢田 成			アステラス製薬(株)
理事		古内 剛			Meiji Seika ファルマ(株)
理事		松田 英樹			(株)クラレ
理事	草間 博之		森 敦紀		神戸大学
理事	袖岡 幹子			袖岡 幹子	理化学研究所
理事	林 亮司		大野 充		(株)ダイセル
理事(北海道支部)	大熊 毅		谷野 圭持		北海道大学
理事(東北支部)		徳山 英利			東北大学
理事(関東支部)		生頼 一彦			日産化学(株)
理事(関東支部)	大和田 智彦		南雲 紳史		工学院大学
理事(東海支部)	村井 利昭		大井 貴史		名古屋大学
理事(関西支部)		南方 聖司			大阪大学
理事(関西支部)	西山 豊		竹本 佳司		京都大学
理事(中国四国支部)	菅 誠治		今田 泰嗣		徳島大学
理事(九州山口支部)		友岡 克彦			九州大学
監事		田上 克也			エーザイ(株)
監事	岩澤 伸治		砂塚 敏明		北里大学
監事	山川 一義		竹之内一弥		帝人ファーマ(株)
人数	15	13	12	2	

第3号議案 名誉会員委嘱の件

定款第5条第5項および名誉会員の委嘱に係る内規2の2に定めに基づき、以下の会員に名誉会員を委嘱する。本案は令和2年12度理事会で名誉会員としての推薦を決議した。

表3-1 令和3年度名誉会員推挙候補者(敬称略)

氏名(年齢)	生年月日	称号・勤務先	推挙の事由
塩入 孝之 (85)	1935.08.05	名古屋市立大学 名誉教授	令和2年度特別賞受賞

表3-2 名誉会員一覧(令和3年2月17日現在、委嘱年月日順、敬称略)

No.	氏名	勤務先役職 or 称号(委嘱当時)	委嘱年月日	生年月日	会長	特別賞
1	E. J. Corey	ハーバード大学教授	1993.02.16	1928.07.12		ノーベル賞
2	辻 二郎	東京工業大学名誉教授	2000.02.22	1927.05.11		1998
3	野依 良治	科学技術振興機構センター長	2002.02.19	1938.09.03	97-98	2000
4	吉田 善一	京都大学名誉教授	2003.02.18	1925.08.19		2001
5	鈴木 章	北海道大学名誉教授	2005.02.24	1930.09.12		2003
6	平岡 哲夫	元三共有機合成(株)代表取締役社長	2006.02.23	1935.08.05	03-04	
7	村井 眞二	大阪大学名誉教授	2006.02.23	1938.08.24	01-02	2004
8	村橋 俊一	大阪大学名誉教授	2008.02.20	1937.05.12		2006
9	岸 義人	ハーバード大学名誉教授	2010.02.19	1937.04.13		2009
10	中井 武	東京工業大学名誉教授	2011.02.18	1940.08.30	05-06	2014
11	根岸 英一	パデュ大学特別教授	2011.02.18	1935.07.14		ノーベル賞
12	白濱 晴久	北海道大学名誉教授	2012.02.17	1930.06.28		2011
13	竜田 邦明	早稲田大学名誉教授・栄誉フェロー	2013.02.19	1940.12.01		2012
14	玉尾 皓平	京都大学名誉教授	2014.02.20	1942.10.31		2013
15	山本 尚	シカゴ大学名誉教授	2014.02.20	1943.07.16		2013
16	迫田 良三	元日産化学工業(株)副社長	2014.02.20	1943.08.24	07-08	
17	大村 智	北里大学特別栄誉教授	2016.02.18	1935.07.12		ノーベル賞
18	桑嶋 功	東京工業大学名誉教授	2016.02.18	1937.11.11		2015
19	蘭頭 健吉	大阪市立大学名誉教授	2017.02.16	1931.12.05		2016
20	山本 嘉則	東北大学名誉教授	2019.02.14	1942.11.21		2018
21	福山 透	東京大学名誉教授	2019.02.14	1948.08.09	09-10	
22	櫻井 英樹	東北大学名誉教授	2020.02.19	1931.05.16		2019
23	柴崎 正勝	(公財)微生物化学研究会理事長・所長	2020.02.19	1947.01.25		2010
24	佐藤 幸蔵	(株)NIL 代表取締役社長	2020.02.19	1949.03.08	15-16	

その他

議案があれば挙手の上、提議してください。

【報告事項】

報告 1 令和 2 年度事業報告（令和 2 年 1 月 1 日から令和 2 年 12 月 31 日まで）

1. 令和 2 年度通常総会(第 83 回)

- ✓ 令和 2 年 2 月 19 日 如水会館にて開催
- ✓ 構成員(代議員)99 名中、出席者 97 名(本人出席 17 ; 代理人出席 0 ; 委任状・書面表決 80)
- ✓ 決議事項
 - 第 1 号議案 『平成 31 年度決算報告承認』の件
 - 第 2 号議案 『令和 2 年度役員選任』の件
 - 第 3 号議案 『名誉会員委嘱』の件
- ✓ 報告事項
 - 報告 1. 『平成 31 年度事業報告』
 - 報告 2. 『令和 2 年度事業計画報告』
 - 報告 3. 『令和 2 年度収支予算報告』
 - 報告 4. 『永年会員昇格者報告』

2. 会員動向

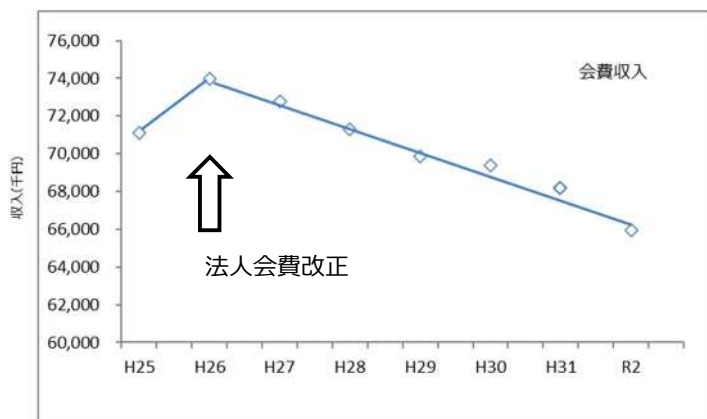
表 4 会員数動向

区 分		R1 年末	入 会	復 活	退 会	区分変更		異動計	R2 年末
普通会員	個人	3,534	56		▲338	33	▲12	▲261	3,273
	法人	223	4		▲9			▲5	218
	団体	3						0	3
普通会員計		3,760	60		▲347	33	▲12	▲266	3,494
永年会員		219			▲67	10	▲1	▲58	161
名誉会員		21				3		3	24
学生会員		577	112		▲213		▲33	▲134	443
合 計		4,577	172		▲627			▲455	4,122

令和 2 年度は、研究会事業の多くが中止または延期となり個人および学生会員の入会が減少した。また、新規会員システムの導入に合わせて会員継続の意思を確認したため、会費未納者を中心に退会が増加した。

会費収入の経年変化

令和2年度の会費収入は、合計ではほぼ予算通りであるが、学生会員は大きく減少した。学生会員に特化した「電子版」の区分導入で年会費単価が下がったこと、および研究会事業の中止や延期で入会が減少したことが主な要因である。また、個人会員も引き続き減少が続いている。



会員種別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
個人会員	41,427	40,535	39,688	38,488	37,237	36,643	35,261	34,556
法人会員	26,200	30,259	30,190	29,967	29,630	29,650	29,825	29,410
団体会員	160	160	160	160	160	160	160	160
学生会員	3,321	3,003	2,742	2,666	2,830	2,910	2,900	1,827
合計	71,108	73,957	72,780	71,281	69,857	69,363	68,146	65,953
前年との差	—	2,849	-1,177	-1,499	-1,424	-494	-1,217	-2,193

3. 事業報告

令和2年度に実施した編集出版、研究会、および表彰の各事業について、表5のとおり報告する。

公1・編集出版事業(14頁)

公2・研究会事業

シンポジウム

本部(14頁) 北海道支部(14頁) 東北支部(14頁) 関東支部(15頁)
 東海支部(15頁) 関西支部(15頁) 中国四国支部(15頁) 九州山口支部(15頁)

講習会

本部(16頁) 東北支部(16頁) 関西支部(16頁)

懇談会

本部(17頁) 関東支部(17頁) 東海支部(17頁)
 関西支部(17頁) 中国四国支部(17頁) 九州山口支部(18頁)

見学会

本部(18頁) 九州山口支部(18頁)

公3・表彰事業

有機合成化学特別賞(18頁) 有機合成化学協会賞・奨励賞(18頁)
 Mukaiyama Award(18頁) Lectureship Award(19頁)
 企業冠賞(19頁) 高砂香料国際賞「野依賞」(19頁)
 支部表彰 関西支部(19頁) 中国四国支部(19頁)
 九州山口支部(20頁)

他1・共益事業

ゆうごう会(20頁) 研究企画賞(20頁)

表 5・1 令和 2 年度事業報告（その 1）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
公 1・編集出版事業	
有機合成化学協会誌	
<p>第 78 巻第 1 号～12 号(12 冊)、発行部数 4,900 部(除く第 11 号)、4,700 部(第 11 号)、総頁数 1,356 普通号 10 回；特集号 2 回(第 5 号「ニューモダリティ；有機合成化学の新しい可能性」；第 11 号 Special Issue in English)</p> <p>掲載内容：巻頭言 12 頁(12 件)、総説 64(5)、総合論文 740(71)、Review de Debut 52(21)、ラウンジ 0(0)、ケミカルズ覚え書き 3(1)、十字路 13(62)、感動の瞬間・MyPR 52(14)、新しい合成 56(225)、会告・協会記事等 164、広告 138</p> <p>(独)科学技術振興機構が運用する電子ウェブサイト(J-STAGE)に 2020 年度分を掲載。</p>	
単行本の編集・出版	
該当なし	
公 1 関連会議	
有機合成化学協会誌編集委員会(1/20, 3/13 メール審議, 5/21・7/16・9/11・11/16 オンライン)	
公 2・研究会事業	
シンポジウム【本部】	
<p>第 117 回有機合成シンポジウム；10/29～10/30；オンライン 口頭発表 32 件；ポスター発表(ショートプレゼンテーションのみ)36 件 合計 68 件 共催：日本化学会、日本薬学会</p>	223(109)
<p>第 53 回酸化反応討論会；11/7～11/8；オンライン 招待講演 2 件、一般口頭発表 34 件 主催：第 53 回酸化反応討論会実行委員会 共催：有機合成化学協会、日本化学会、日本薬学会、錯体化学会、触媒学会</p>	98(31)
<p>第 49 回複素環討論会；9/24～9/26；オンライン 一般口頭発表 61 件 主催：複素環討論会 共催：日本化学会、日本薬学会</p>	201(79)
<p>第 53 回有機金属若手の会・夏の学校 主催：有機金属若手研究者の会</p>	中止
シンポジウム【北海道支部】	
<p>第 32 回万有札幌シンポジウム；12/12；オンライン 招待講演 5 件、学生ポスター発表 19 件 1.生命科学に役立つ分子プローブの創製（東京医歯大）細谷孝充 2.ハーバー・ボッシュ法を超えるアンモニア合成法への挑戦（東大院工）西林仁昭 3.よくある金属錯体の 3 次元分子改変と集積制御が生み出す新機能（阪大院基礎工）直田健 4.希土類触媒を用いた新規有機合成反応の開拓と機能性高分子の創製（理研）侯召民 5.丸岡触媒®を用いる嵩高いアミノ酸の実用的合成から超効率ペプチド合成へ（京大院薬）丸岡啓二 開催本部：北海道大学工学部内 フロンティア応用科学研究棟 主催：万有札幌シンポジウム組織委員会、協賛団体：公益財団法人 MSD 生命科学財団、共催他団体：日本化学会北海道支部、北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター、北海道大学化学反応創生研究拠点 WPI-ICReDD</p>	320(270)
日本化学会北海道支部 2020 年 夏季研究発表会	中止
若手研究者のための有機化学札幌セミナー	中止
シンポジウム【東北支部】	
<p>第 31 回万有仙台シンポジウム；10/17；オンライン 主催：万有仙台シンポジウム組織委員会</p>	-(-)
仙台地区春の講演会	中止
<p>化学系学協会東北大会；9/27；オンライン 主催：日本化学会東北支部</p>	40(-)

表 5.2 令和 2 年度事業報告 (その 2)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【東北支部】つづき	
有機化学コロキウム; 9/26; オンライン	36(-)
第 35 回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー; 12/5; オンライン 15 分講演: 6 件、ショートトーク: 7 件 口頭発表合計 13 件	161(127)
シンポジウム【関東支部】	
第 79 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(大岡山シンポジウム)	中止
第 80 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム; 12/18; オンライン; 発表件数 42 件 若手研究者のためのセミナー	110(52) 中止
シンポジウム【東海支部】	
有機合成セミナー; 12/23; オンライン 1.連続フロー有機合成を実現する不均一系触媒の開発(東大院理) 宮村浩之 2.マイクロフロー合成法を駆使する古くて新しい有機合成法の開発(名大院創薬科学) 布施新一郎	76(61)
若手研究者のためのセミナー; 7/22; オンライン 【支部奨励賞受賞講演】 1.構造や反応性の差異を活用した生理活性糖質の合成研究(岐阜大高等研究院) 田中秀則 2.経口投与可能な PTHR1 受容体アゴニスト PCO371 の創製(中外製薬) 西村祥和 【招待講演】 1.1,3-ジチオール骨格を有する酸化還元応答性ホストの開発(信州大理) 太田哲 2.植物病原菌 2 次代謝産物による細胞の操作(信州大農) 大神田淳子	97(76)
第 51 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会特別討論会	中止
有機合成化学総合講演会; 12/3; オンライン 1.触媒的骨格転位による新しい合成手法の開拓(東北大院理) 中村達 2.ニッケル触媒による共役ジエンの多成分連結反応(東大院工) 岩崎孝紀	48(34)
シンポジウム【関西支部】	
2020 年度有機合成化学北陸セミナー	中止
第 40 回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」(若手研究者のためのセミナー) 8/5; オンライン 1.海洋天然物の全合成からエナントオ分散現象との遭遇へ(阪市大院理) 森本善樹 2.ハロゲン結合および光励起を利用した糖鎖修飾法の開発(京都薬大) 小林祐輔 3.新しいトポロジーを持つ曲面 π 共役分子の合成(京大化研) 茅原栄一 4.酸・塩基協働作用による新規反応場の構築(神戸学院大薬) 稲垣冬彦 5.パラダイムシフトの時代に試される有機合成の力(カネカ) 満田勝 6.直接的芳香族カップリングの新展開(阪大院工) 三浦雅博 ※ポスターセッションは中止	226(162)
シンポジウム【中国・四国支部】	
若手研究者のためのセミナー(第 36 回若手化学者のための化学道場)	延期
第 37 回有機合成化学セミナー(2020); アステールプラザ	延期
シンポジウム【九州・山口支部】	
第 32 回若手研究者のためのセミナー; 12/5; オンライン; 世話人: 内田竜也(九大基幹教育院) 特別講演 1 件 光および電気化学的活性化法を用いたバイオインスパイアード触媒(九大院工) 久枝良雄 招待講演 1 件 ホスフィンオキドが創る高配位ケイ素複合体を利用した不斉アルドール反応の開発(熊本大院生命科学) 小谷俊介 受賞講演(ポスター賞) 2 件	118(81)

表 5.3 令和 2 年度事業報告 (その 3)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
講習会【本部】	
2020 有機合成化学講習会；11/19～11/20；オンライン（有機合成化学講習会(前期)の延期） テーマ：おさえておきたい最新の有機合成～新規反応開発から実用展開まで～ 1.特殊ヘテロ環の化学（微化研）熊谷直哉 2.有機硫黄化合物を活用する有機合成反応（京大院理）依光英樹 3.天然物合成における紆余曲折とそこから学ぶこと（東大院農）滝川浩郷 4.触媒制御による高化学選択的アルコール酸化反応（東北大院薬）岩淵好治 5.キラル分子科学の再認識（九大先導物質研）友岡克彦 6.二次性副甲状腺機能亢進症治療薬 エボカルセトの創製（田辺三菱製薬）宮崎洋 7.金属ナトリウム分散体(SD)の新規用途展開 有機合成化学への応用(神鋼環境ソリューション)村上吉明 8.コバレントドラッグの創薬有機化学（九大院薬）王子田彰夫 9.タグ液相法によるペプチドの新規製造技術（JITSUBO）金井和昭 共催：日本化学会、日本薬学会	52(1)
「AIと有機合成化学」研究部会 第 5 回勉強会；7/27；オンライン 1.Python による化合物データ・材料データの解析（明治大理工）金子弘昌	95(0)
「AIと有機合成化学」研究部会 第 6 回勉強会；11/26；オンライン 1.MI-6 のマテリアルズ・インフォマティクスの取り組みと展望（MI-6）入江満	68(0)
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会 第 3 回勉強会；10/12；オンライン 1.有機合成化学による糖タンパクの精密合成（糖鎖工学研究所）朝井洋明 2.光化学反応を利用した抗体薬物複合体によるがん治療（北大院薬）小川美香子 3.オリゴ核酸の製造：固相合成および液相合成による取り組み（ジーンデザイン）井上聡 4.ペプチド・タンパク質の細胞内送達（京大化研）二木史朗	98(0)
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会 第 4 回勉強会；12/23；オンライン 1.質量分析を用いた抗体医薬品分析と糖鎖解析（島津製作所）西風隆司 2.ニューモダリティ創薬を支える最新分析技術（日本ウォーターズ）廣瀬賢治 3.核酸医薬品の品質評価（医薬品医療機器総合機構）伊藤浩介	69(0)
講習会【東北支部】	
福島地区講演会	中止
岩手地区講演会；9/28	56(47)
講習会【関西支部】	
有機合成 2 月セミナー「有機合成のニュートレンド 2020」；2/3～2/4；大阪科学技術センター 1.タンパク質の合成を阻害する抗菌剤探索の新しいトレンド-常識からの飛躍-(北里環境科学セ)味戸慶一 2.天然物に学ぶ多置換化合物の立体選択的合成（慶大理工）犀川陽子 3.有用生物活性リガンドの開発を志向した化学コミュニケーション研究（京大院薬）掛谷秀昭 4.プロスタグランジン受容体作動薬の設計と合成（東レ）林亮司 5.加水分解酵素リパーゼだからできる新しい不斉合成術（阪大院薬）赤井周司 6.超炭素鎖天然有機化合物の構造決定・全合成・生物活性評価（九大院理）大石徹 7.化粧品学が取り組む研究開発イノベーション～史上初シワ改善医薬部外品開発の軌跡～（ポーラ化成） 未延則子 8.希土類触媒を用いた新しい有機合成反応の開拓（理研）侯召民 9.光機能分子の分子軌道・分子配列の制御による高次光機能の創出（京大院工）松田建児 10.ニッケラサイクルを経由する環状化合物合成（阪大院工）生越専介	99(40)
有機合成夏期セミナー「明日の有機合成化学」；8/25；オンライン 1.マルチ選択的反応を制御するキラル酸塩基協奏型触媒の精密設計（神戸薬大薬）波多野学 2.面性不斉[2.2]パラシクロファン化学：高輝度と高異方性を両立する円偏光発光性分子の創出（関学大理工）森崎泰弘 3.生理活性脂質から薬を創る～故きを温ねて新しきを知る～（小野薬品工業）丸山透 4.超高感度フォトリソグラフィ分子から光ルイス酸発生剤への展開（奈良先端大）河合壯	260(169)

表 5・4 令和 2 年度事業報告 (その 4)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
前ページの続き 5.「縁の下の力持ち」的な天然物合成 (静岡県大薬) 菅敏幸	
懇談会【本部】	
2020 新春特別フォーラム ; 1/16 ; 化学会館・山の上ホテル (本館) ※講演の部「世界に飛躍する日本の科学技術—産学の明日を考える—」 1.がんに強みを持つ先進的グローバル創薬企業を目指して、第一三共の Transformation (第一三共) 藤本克己 2.触媒的不斉合成, 昔ばなし (京大名誉 / 台湾国立清華大) 林民生 ※賀詞交換会「産官学の人的ネットワーク構築をめざして」 共催 : 有機合成化学協会関東支部	129(0)
「AIと有機合成化学」第 4 回公開講演会 ; 2/3 ; 早稲田大学国際会議場 1.スーパーコンピュータを利用した分子シミュレーションとインフォマティクスによる新材料設計 (理研計算科学研究センター) 中嶋隆人 2.化学構造生成器の開発と深層学習を利用した生成モデルについて (奈良先端大データ駆動型サイエンス創造センター) 宮尾知幸 3.分子場解析に基づくデータ駆動型不斉触媒設計法の構築 (理研環境資源科学研究センター) 山口滋 4.創薬化学への AI の活用(現状と課題) (旭化成ファーマ) 芹沢貴之 ※情報交換会 共催 : 早稲田大理工学術院総合研究所	111(15)
「ニューモリティと有機合成化学」第 2 回公開講演会 ; ただし第 3 回勉強会へ切替え実施	中止
中堅・若手リーダーのための YUGOKAFé	中止
有機合成化学協会「Mukaiyama Award・奨励賞」受賞講演会 ; 9/17 ; オンライン 【2019 年度有機合成化学奨励賞】受賞講演 5 件 1.キラルナフトレン多量体から成る円偏光発光色素の合成 (岡山大院自然科学) 高石和人 2.特異なかご型構造をモチーフとする多環式天然物の合成戦略 (京大院薬) 瀧川紘 3.ロタキサンの動的構造変換特性を利用した高分子の構造制御 (東工大物質理工) 中園和子 4.触媒と反応場の制御による官能基選択的水和反応の開拓 (名大物質科学国際研究セ) 中寛史 5.フッ素脱離の制御を鍵とする含フッ素化合物の変換法 (筑波大数理物質) 藤田健志 【2020 年度 Mukaiyama Award】受賞講演 2 件 1.A Lego-like Platform for Making Molecular Prosthetics and Democratizing Synthesis (University of Illinois at Urbana-Champaign, U.S.A.) Martin D. Burke 2.不斉 C-H 結合官能基化を目指した新規キラル触媒の創製 (北大院薬) 松永茂樹	登録 270 (リアルタイム 200)
懇談会【関東支部】	
有機合成化学ミニシンポジウム①	中止
有機合成化学ミニシンポジウム②	中止
有機合成化学ミニシンポジウム③	中止
有機合成化学ミニシンポジウム④	中止
第 18 回有機合成化学談話会(湯河原セミナー)	中止
懇談会【東海支部】	
訪日学者講演会	中止
懇談会【関西支部】	
有機合成新春講演会 ; 1/23 ; 大阪科学技術センター 1.骨格転位手法の開発からフローマイクロ光化学への展開 (奈良先端大) 垣内喜代三 2.アミノ酸・ペプチド化学に基づくプロテアーゼ阻害剤の設計と評価 (京都薬大) 赤路健一 3.超ポルフィリンの化学 (京大院理) 大須賀篤弘	70(9)
セミナー化学千一夜「明日の化学への夢を語ろう」	中止
懇談会【中国・四国支部】	
第 81 回パネル討論会	中止
有機合成ミニシンポジウム 2020	中止
来日学者講演会	中止

表 5.5 令和 2 年度事業報告 (その 5)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【中国・四国支部】のつづき	
第 17 回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム；12/9～12/11；オンライン 口頭発表 (A) (20 分)、口頭発表 (B) (15 分) 主催：ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会	64(23)
懇談会【九州・山口支部】	
第 57 回化学関連支部合同九州大会	中止
第 1 回有機合成化学講演会	中止
来日学者講演会	中止
見学会	
本部；九州山口支部：実施なし	
公 2 関連会議	
有機合成化学協会事業委員会；2 回(10/7,12/4)；オンライン 2020 年度有機合成化学講習会企画委員会；1 回；オンライン 第 117 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；2 回；メール会議	
公 3. 表彰事業	
有機合成化学特別賞の選考と受賞者(1 件採択)	担当機関
理事による候補者推薦；6～8 月郵便による投票	理事会
理事によって推薦された候補者からの受賞者選考；10/20；ワйм貸会議室 ●塩入孝之（名市大名誉教授） 業績：新規有機合成反応剤の開発とその応用 表彰式・受賞講演(R3.2/17)	賞選考 委員会
有機合成化学協会賞・奨励賞の選考と受賞者(協会賞：2 件；奨励賞：5 件採択)	
各支部推薦委員会；～7 月	
奨励賞書面審査；実施	
協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会；10/19～10/20；ワйм貸会議室	
有機合成化学協会賞(学術的なもの) ●砂塚敏明（北里大大村智記念研究所）業績：特異な構造を有する大村天然物の新規分子骨格構築法開発と実践的全合成 ●林雄二郎（東北大院理）業績：実用的有機触媒反応の開発および生物活性化合物の短工程合成への展開 有機合成化学協会賞(技術的なもの)；該当なし 有機合成化学奨励賞 ●石田真敏（九大院工）業績：N-混乱修飾による NIR-II 光機能性ポルフィリン色素分子の創製 ●岩井智弘（東大院総合）業績：固体および分子の空間特性を活かした遷移金属錯体触媒の設計 ●南保正和（名大トランスフォーマティブ生命分子研(WPI-ITbM)）業績：スルホニル基の特性を活かした新規分子構築法の開発 ●西本能弘（阪大院工）業績：高周期典型金属の中程度ルイス酸性と π 電子親和性を活かした有機金属種の新規合成法 ●森本浩之（九州大院薬）業績：無保護ケチミンを活用した環境調和型新規触媒的含窒素化合物合成手法の開発 表彰式(R3.2/17) 受賞講演：協会賞(学術的なもの：R3.2/17) 奨励賞(R3.9/15～17)	賞選考 委員会
Mukaiyama Award の選考と受賞者(国内および海外各 1 件採択)	
Mukaiyama Award 委員会；2021 受賞者選考委員会 8/24	Mukaiyama Award 委員会
●大宮寛久（金沢大医薬保健） The development of novel reactions through system-oriented molecular catalysis, such as organo/metal hybrid catalysis and radical-mediated organocatalysis.	

表 5・6 令和 2 年度事業報告 (その 6)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページのつづき ●Melanie S. Sanford (University of Michigan, Ann Arbor, U.S.A.) Developing transition metal catalyzed reactions for diverse organic transformations including C-H functionalization, arene fluorination and radiofluorination, and decarbonylative cross-coupling. 表彰式・受賞講演 ; R3.9/15~17</p>	<p>Mukaiyama Award 委員会</p>
Lectureship Award	
<p>●Song Lin (Cornell University, USA) Amping Up Organic Synthesis with Electricity : An Electrocatalytic Approach to Reaction Discovery 表彰式・受賞講演 ; R3.9/15~17</p>	<p>中国四国 支部</p>
企業冠賞の選考と受賞者(各 1 件、合計 5 件採択)	
<p>カネカ・生命科学賞 ; 書面審査(郵便 ; ~11/20) ●眞鍋史乃 (星薬大薬) 業績 : 複合糖質の均一合成による高機能化合物創成研究 シオノギ・低分子創薬化学賞 ; 書面審査(郵便 ; ~11/20) ●藤本ゆかり (慶大理工) 業績 : 免疫調節性分子の合成と免疫制御機能の解明 東ソー・環境エネルギー賞 ; 書面審査(郵便 ; ~11/20) ●依馬正 (岡山大院自然科学) 業績 : 無溶媒触媒反応を基軸とする環境調和型有機合成 日産化学・有機合成新反応 / 手法賞 ; 書面審査(郵便 ; ~11/20) ●大村智通 (京大院工) 業績 : sp^3 炭素-水素および炭素-ホウ素結合の触媒的高効率変換反応の開発 富士フイルム・機能性材料化学賞 ; 書面審査(郵便 ; ~11/20) ●辻勇人 (神奈川大理) 業績 : 剛直平面炭化水素分子 COPV の開発 表彰式(R3.2/17) ; 受賞講演(R3.日時未定・オンライン)</p>	<p>企業冠賞 選考委員会</p>
高砂香料国際賞「野依賞」関連	
<p>野依賞委員会 ; 2020 受賞者選考委員会 8/24 ●今本恒雄 (千葉大名誉教授・グランドフェロー) Professor Imamoto is a pioneer in the use of phosphine-boranes for the synthesis of chiral phosphine ligands. He designed and synthesized many new P-chiral phosphine ligands and demonstrated their superior performance in asymmetric catalysis. The air-stable P-chiral phosphine ligand QuinoxP* is widely used in both academia and industry. He also made significant contributions to the mechanistic studies of rhodium-catalyzed asymmetric hydrogenation in collaboration with Professor Ilya D. Gridnev. Another outstanding achievement is the development of cerium(III)-modified organometallic reagents, which have found widespread use in the efficient addition reactions of carbonyl compounds. 表彰式・受賞講演 ; R3.2/17</p>	<p>野依賞 委員会</p>
支部表彰	
<p>【関西支部】 第 18 回支部賞授賞講演会 ; 11/27 ; オンライン 1. 医薬品合成を指向した基質設計とカチオン性ヨウ素試薬を鍵とする複素環合成法の開発 (神戸薬大) 沖津貴志 2. 安定開殻 π 電子系分子システムの創製法開拓と機能展開 (阪大院基礎工) 鈴木修一 3. リン原子および硫黄原子の元素特性を利用した新規反応の開発 (近畿大薬) 前川智弘</p>	<p>74(2)</p>
<p>【中国・四国支部】 有機合成化学特別講演会「支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会」 ; 11/14 ; オンライン 【支部奨励賞受賞講演】 アントラセン電子チューニング法に立脚した新奇なパイ共役系化合物の創製 (岡山理大理) 岩永哲夫 【特別招待講演】 広い共役 π 電子系を有する化合物の合成 (愛媛大院理工) 宇野英満</p>	<p>129(106)</p>

表 5.7 令和 2 年度事業報告 (その 7)

事業の名称および事業の概要	担当機関
支部表彰のつづき	
<p>【九州・山口支部】 有機合成化学講演会・支部各賞表彰式；11/13；オンライン；世話人：國信洋一郎（九大先導研） 奨励賞：1 件 「多成分系分子集積化技術に基づく光機能材料の創製」（九大院工）小野利和 招待講演：2 件 「界面活性剤ミセルを利用したカーボンナノチューブの新規修飾法と展開」（九大院工）藤ヶ谷剛彦 「コバレントドラッグ開発のための有機化学の開拓」（九大院薬）王子田彰夫</p>	77(30)
<p>【九州・山口支部】 第 30 回万有福岡シンポジウム；10/24；オンライン；支部ポスター賞（2 名） 主催：万有福岡シンポジウム組織委員会</p>	
他 1・共益事業	
ゆうごう会	
ゆうごう会（東京；大阪）	中止
海外視察団派遣	
海外視察団派遣；実施なし	
技術アドバイス事業	
技術アドバイス事業；申請なし	
研究企画賞	
研究企画賞選考委員会；11/12；ワイム貸会議室；24 件採択	担当機関
<p>● 味の素研究企画賞：喜多村徳昭（岐阜大学） カルベンを利用した核酸オリゴマーの実用的合成法の開発</p> <p>● ADEKA 研究企画賞：金澤純一郎（東京大学） 創薬のケミカルスペースを拡張する多様な三次元化合物の合成法の開発</p> <p>● 岩城製薬研究企画賞：阿部光（微生物化学研究会） 新規作用機序で抗がん活性を示すインターヘリン関連化合物の大量合成法開発</p> <p>● カネカ研究企画賞：近藤健（大阪大学） 有機電解反応・フロー合成反応開発の加速を志向するデータ駆動型反応条件スクリーニング法の開発</p> <p>● 関東化学研究企画賞：芦刈洋祐（京都大学） バイメタリックアレーン類のフローマイクロ合成と金属選択的カップリング反応への展開</p> <p>● コニカミルタ研究企画賞：堂本悠也（東京大学） 金属-不飽和結合間の π 配位を鍵とする自己集合ナノ多孔分子の構築と機能創出</p> <p>● 塩野義製薬研究企画賞：瀧川紘（京都大学） ベンザインの分子内反応を拡張するプラットフォーム分子の開発</p> <p>● セントラル硝子研究企画賞：林裕樹（北海道大学） 計算科学主導によるフッ素化含窒素ヘテロ環合成を指向した三成分連結反応の開発</p> <p>● 第一三共研究企画賞：坂田樹理（東北大学） 福山カップリングの新展開：ワンポット連続カップリングによる 1,3-ジケトン合成法の開発と複雑天然物の全合成</p> <p>● 大正製薬研究企画賞：長尾一哲（金沢大学） 有機硫黄光触媒によるカルボカチオン転位反応の開発</p> <p>● ダイセル研究企画賞：小野公輔（東京工業大学） 水を外部刺激とする環境調和型の動的材料的の開発</p> <p>● 田辺三菱製薬研究企画賞：林剛介（名古屋大学） ルテニウム錯体の特徴を活用した医薬品候補タンパク質の精密化学合成</p> <p>● 中外製薬研究企画賞：武藤慶（早稲田大学） ベンジルパラジウム錯体を中間体とするハロアレーンのカルボアミノ化反応の開発</p> <p>● DIC 研究企画賞：石垣侑祐（北海道大学） 酸化還元反応を利用した平面 π 共役系分子の新規構築法の開発</p>	研究企画賞 選考委員会

表 5・8 令和 2 年度事業報告 (その 8)

事業の名称および事業の概要	担当機関
<p>前ページのつづき</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 帝人ファーマ研究企画賞：長澤翔太（東北大学） <p>キュバン縮環型複素環化合物の創成・キュバンの自在官能基化が拓く新規生物学的等価体へのアプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東ソー研究企画賞：山本英治（九州大学） <p>超原子価クロロニウム塩を用いた第四級アンモニウム塩の精密合成法開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日産化学研究企画賞：安川知宏（東京大学） <p>不均一系触媒を駆使したベンジルテトラヒドロイソキノリンアルカロイドのフロー全合成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本触媒研究企画賞：西川剛（京都大学） <p>アルケニルボロン酸エステルモノマーの分子設計を鍵とするラジカル連鎖成長の立体制御</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 富士フイルム研究企画賞：君嶋敦（大阪大学） <p>フロープロセスを利用した一重項酸素酸化を駆動力とするカスケード反応の確立と天然物合成への応用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 富士フイルム和光純薬研究企画賞：武永尚子（名城大学） <p>環状歪みアルキンの発生を鍵とした核酸塩基の新規変換反応の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 三井化学研究企画賞：後関頼太（東京工業大学） <p>アニオン共重合による配列制御高分子の精密合成と天然模倣接着性ゴム材料の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 三菱ガス化学研究企画賞：植竹裕太（大阪大学） <p>均一系金属触媒反応における分子間相互作用の実験的観測</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 三菱ケミカル研究企画賞：竹澤浩気（東京大学） <p>孤立空孔とアタッチメント触媒の協奏による精密有機合成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Meiji Seika ファルマ研究企画賞：金本和也（中央大学） <p>弱い結合の選択的変換を志向した脱離基設計によるポリスルフィド類の多様性合成法の開発</p>	<p>研究企画賞 選考委員会</p>
法人運営関連会議	
本部関連	
第 83 回通常総会(定期社員総会；2/19)	
運営委員会・理事会(1/27, 2/19, 4/15；みなし決議, 6/15；Web, 9/14；Web, 12/2Web 併用)	
財務・予算委員会(11/20, 1/18)；分科会(実施なし)	
80 周年記念事業委員会(設立；事業計画を審議)	
令和 3 年度役員候補者選出委員会(10/28)；ワйм貸会議室；Web 併用	
支部関連【北海道支部】	
幹事会；議題あがり次第随時メールにて対応	
支部関連【関東支部】	
常任幹事会；3 回(8/20, 10/1, 12/14)；オンライン, 5/1；メール報告	
支部幹事会；5/1；メール報告	
正副支部長会議；1 回(3/31；化学会館)	
協会賞等支部推薦委員会（7/13；メール会議）	
支部関連【東海支部】	
常任幹事会；1 回(2/15)；名古屋	
支部総会；11/14；オンライン	
支部奨励賞選考委員会；4 月；メール会議	
協会賞等支部推薦委員会；6 月；メール会議	
支部関連【関西支部】	
幹事会；4 回（第 1 回；3/2；メール審議、第 2 回；5/12；メール審議、第 3 回；7/30；メール審議、第 4 回；11/27；オンライン）	
支部関連【中国・四国支部】	
幹事会・懇話会合同会議；2 回（第 1 回；5/16；オンライン、第 2 回；11/14；オンライン）	
支部関連【九州・山口支部】	
事務引継会；2/10；九州大学筑紫キャンパス(参加者：R1/R2 幹事執行部、相談役、監査、事務局員)	

表 5・9 令和 2 年度事業報告（その 9）

事業の名称および事業の概要	担当機関
支部関連 【九州・山口支部】のつづき	
支部各賞選考委員会；5/22；オンライン 奨励賞・優秀論文賞・技術賞候補者によるヒアリング；支部各賞選考委員	
第 1 回幹事会；書面審議	
第 2 回幹事会；11/13；オンライン 議題：2020 年度中間事業・会計報告；2021 年度事業計画・予算案他	

事業報告附属明細書

令和元年度事業報告には「一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

報告 2 令和 3 年度事業計画

令和 3 年度の編集・出版、研究会および表彰の各事業計画について、以下のとおり報告する。

表 6・1 令和 3 年度事業計画 (その 1)

事業の名称・事業の概要	主催	共催・協賛
公 1・編集出版事業		
有機合成化学協会誌 79巻第1～12号(12冊)、発行部数4,700部/月、年間総ページ1,400 普通号10回 特集号 2回 第 5号「『有機合成のブレイクスルー』合成反応の選択性制御によるブレイクスルー」 第11号 Special Issue in English	本部	
単行本の編集・出版 随時	本部	
公 1 関連会議 有機合成化学協会誌編集委員会(日時未定; 6回) 出版委員会(日時未定; 3回)	本部 本部	
公 2・研究会事業		
シンポジウム 第118回有機合成シンポジウム(6月24-25日; 九州大学筑紫キャンパス) 第119回有機合成シンポジウム(11月8-9日; 早稲田大学国際会議場) 万有札幌シンポジウム(7月・場所未定) 日本化学会北海道支部夏季研究発表会(日時・場所未定) 若手研究者のための有機化学札幌セミナー(11月; 場所未定) 仙台地区春の講演会(5月または6月; 場所未定) 福島地区講演会(日時・場所未定) 若手研究者のための仙台セミナー(11月または12月; 場所未定) 仙台セミナー 賞受賞者への有機合成シンポジウム参加支援事業(6月、11月) 夏季学生国際セミナー(仮)(7月または8月) 万有仙台シンポジウム(5月または6月) 化学系学協会東北支部大会(9月) 有機化学コロキウム(9月) 第79回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(大岡山シンポジウム) (5月29日; 東京工業大学大岡山キャンパス) 第81回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(群馬シンポジウム) (11月26-27日; 前橋テルサ) 有機合成化学ミニシンポジウム①(4月16日; 東京理科大学記念講堂) 有機合成化学ミニシンポジウム②(7月; 東海大学) 有機合成化学ミニシンポジウム③(11月; 千葉大学) 有機合成化学ミニシンポジウム④(10月または11月; 東京都立大学) 若手研究者のためのセミナー(7月; 東京大学薬学系総合研究棟 2 階講堂) 有機合成セミナー(6月; 愛知) 有機合成化学総合講演会(12月; 愛知) 若手研究者のためのセミナー(7月; 岐阜) 第52回中化連秋季大会(日時未定; 静岡大学) 第52回中化連秋季大会特別討論会(日時未定; 静岡大学) 第41回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」(若手研究者のためのセミナー): 8月上旬頃、神戸大学 有機合成北陸セミナー <福井県> (10月頃; センチュリオンホテル)	本部 本部 他学会 他学会 北海道支部 東北支部 東北支部 東北支部 東北支部 東北支部 東北支部 東北支部 他学会 他学会 他学会 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部 東海支部 東海支部 東海支部 他学会 他学会 関西支部 関西支部	北海道支部 北海道支部 東北支部 東北支部

表 6.2 令和 3 年度事業計画 (その 2)

事業の名称・事業の概要	主催	共催・協賛
公 2・研究会事業(つづき)		
シンポジウム		
若手研究者のためのセミナー(第36回若手化学者のための化学道場) (世話人:岡山大学;日時・場所未定)	中国四国支部	
第37回有機合成化学セミナー (9月15-17日;広島県広島市;グランドプリンスホテル広島)	中国四国支部	本部
第33回若手研究者のためのセミナー(8月下旬;九州大学病院キャンパスコラボ・ステーション I)	九州山口支部	
講習会		
2021年度前期有機合成化学講習会(6月下旬・オンライン)	本部	
2021年度後期有機合成化学講習会(日時未定・オンライン)	本部	
「AIと有機合成化学」研究部会:勉強会2回(日時・場所未定)	本部	
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会:勉強会2回(日時・場所未定)	本部	
有機合成2月セミナー“有機合成のニュートレンド2021” (2月5日;WEB配信<オンライン>)	関西支部	
有機合成夏期セミナー“明日の有機合成化学”(8月下旬頃・場所未定)	関西支部	
懇談会		
有機合成化学懇談会(日時・場所未定)	本部	
中堅・若手リーダーのためのYUGOKAF e(講演&討論会):(8月下旬・場所未定)	本部	
「AIと有機合成化学」第5回公開講演会(日時・場所未定)	本部	
「ニューモダリティと有機合成化学」第2回公開講演会(日時・場所未定)	本部	
学生のためのセミナー(企業の若手研究者との討論・交流会):(日時未定・オンライン)	本部	
海外・国内化学者講演会:随時	北海道支部	
第18回有機合成化学談話会(湯河原セミナー) (9月下旬;富士フイルム和光純薬(株)湯河原研修所)	関東支部	
訪日学者講演会(10件;日時・場所未定)	東海支部	
有機合成新春講演会(1月18日;WEB配信<オンライン>)	関西支部	
セミナー化学千一夜“明日の化学への夢を語ろう”(6月頃・場所未定)	関西支部	
第81回パネル討論会(5月;場所未定)	中国四国支部	
第82回パネル討論会または有機合成ミニシンポジウム2021(日時・場所未定)	中国四国支部	
来日学者講演会(10件;随時)	中国四国支部	
第18回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム(日時未定;広島大学)	他学会	中国四国支部
第1回有機合成化学講演会(6月4日;九州大学)	九州山口支部	
第58回化学関連支部合同九州大会(7月3日;北九州国際会議場)	他学会	九州山口支部
来日学者講演会(最大4件)	九州山口支部	
見学会		
有機合成見学会(日時・場所未定)	本部	
有機合成見学会(10月下旬または11月上旬;山口県(予定))	九州山口支部	
公 2 関連会議		
事業委員会(日時未定;5回)	本部	
有機合成化学シンポジウムプログラム編成会議(2回)	本部	
有機合成化学講習会企画委員会(2回)	本部	
その他本部事業関連・研究部会関連委員会(7回)	本部	
有機合成化学談話会(湯河原セミナー)企画委員会(日時未定;1回)	関東支部	

表 6.3 令和 3 年度事業計画 (その 3)

事業の名称・事業の概要	主催	共催・協賛
公 3. 表彰事業	担当組織	
有機合成化学特別賞関連 理事による予備投票(6~8月郵便) ; 委員会による選考(10月)	協会賞等選考委員会	
有機合成化学協会賞・奨励賞関連 各支部推薦委員会(~7月) 協会賞(技術)・奨励賞書面審査(7月 ; 郵便) 協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会(10月)	各支部 協会賞等選考委員会 協会賞等選考委員会	
Mukaiyama Award関連会議 Mukaiyama Award委員会(選考委員会)	Mukaiyama Award委員会	
企業冠賞関連 カネカ「生命科学賞」書面審査(郵便) 塩野義製薬「低分子創薬化学賞」書面審査(郵便) 東ソー「環境エネルギー賞」書面審査(郵便) 日産化学「有機合成新反応/手法賞」書面審査(郵便) 富士フイルム「機能性材料化学賞」書面審査(郵便) 令和2年度企業冠賞講演会(2020年度受賞講演)(日時未定・オンライン)	左記選考委員会 左記選考委員会 左記選考委員会 左記選考委員会 左記選考委員会 本部	
高砂香料国際賞「野依賞」関連 野依賞委員会(選考委員会)	野依賞委員会	
支部表彰 支部奨励賞選考・授与(予定) 第19回支部賞授賞講演会(日時・場所未定) 有機合成化学特別講演会(支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会) (11月 ; 場所未定) 支部各賞選考委員会(6月4日 ; 九州大学) 第31回万有福岡シンポジウム(6月5日 ; 場所未定) 第2回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式(日時未定;山口県)	東北支部 関西支部 中国四国支部 九州山口支部 他学会・九州山口支部 九州山口支部	
他 1 (共益事業)		
技術アドバイス事業	本部	
ゆうごう会(日時未定 : 東京、大阪各1回)	本部	
海外視察団派遣(日時・場所未定)	本部	
研究企画賞 研究企画賞選考委員会	研究企画賞選考委員会	
法人運営関連会議		
本部関連 第84回通常総会(定期社員総会 ; 2月17日) 運営委員会、理事会、理事会分科会(1,2,4,6,9,12月) 2022年度役員候補者選出委員会(10月) 創立80周年記念事業委員会(組織委員会・実行委員会・出版委員会・財務委員会) 令和4-5年度代議員選出委員会	本部 本部 本部 本部 本部	
支部関連 第1回幹事会(7月・場所未定) 第2回幹事会(11月・場所未定)	北海道支部 北海道支部	

表 6・4 令和 3 年度事業計画 (その 4)

事業の名称・事業の概要	担当組織
法人運営関連会議(つづき)	
支部関連	
第1回常任幹事会・第1回幹事会(4月16日；東京理科大学神楽坂キャンパス)	関東支部
第2回常任幹事会(7月；場所未定)	関東支部
第3回常任幹事会(10月；場所未定)	関東支部
第4回常任幹事会(12月；場所未定)	関東支部
協会賞等支部推薦委員会(7月；場所未定)	関東支部
常任幹事会(2月12日；名古屋)	東海支部
支部総会(日時未定；静岡大学)	東海支部
支部奨励賞選考委員会(4月；メール会議)	東海支部
協会賞等支部推薦委員会(日時・場所未定)	東海支部
第1回幹事会(3月上旬頃、場所未定)	関西支部
第2回幹事会(4月下旬頃、場所未定)	関西支部
第3回幹事会(7月中旬頃、場所未定)	関西支部
第4回幹事会(11月頃、場所未定)	関西支部
2021年度第1回幹事会・懇話会合同会議(5月；場所未定)	中国四国支部
2021年度第2回幹事会・懇話会合同会議(11月；場所未定)	中国四国支部
事務引継会(日時・場所未定)	九州山口支部
第1回幹事会(6月4日；九州大学)	九州山口支部
第2回幹事会(日時未定；山口県)	九州山口支部

報告 3 令和 3 年度収支予算

令和 3 年度収支予算を表 7・1～7・3 に示す。収支予算の内訳は以下の通り(前年度予算比)。

- 1) 会費収入▲348 千円：個人会員数の落ち込み抑制と学生会員数の回復を計画
- 2) 編集出版事業費用▲812 千円：協会誌の海外送達費の削減を計上
- 3) 研究会事業
 収益▲2,446 千円：新春特別フォーラムの中止 ▲981 千円等を計上
 費用▲538 千円：有機合成化学セミナー(広島)の補填予備費 1,200 千円を計上
- 4) 給料手当▲3,719 千円：人件費予備費の未計上と事務局長の退任
- 5) 退職給付費用(積立金)+3,300 千円：必要額満額を計上
- 6) 会議費と旅費交通費：80 周年記念事業関連の費用を計上
- 7) 事務所賃貸料：4 月からの家賃改定を反映
- 8) 懇親会は新型コロナウイルス感染症の継続を想定し削減

表 7・1 令和 3 年度正味財産増減予算書

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

(単位：円)

科 目	令和3年度 A	【参考】令和2年度		増減 D A-B	増減 E A-C
		予算 B	決算 C		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
【特定資産運用益】					
特定資産受取利息	805,500	805,500	829,944	0	▲ 24,444
退職給付特定資産受取利息	3,000	3,000	7,359	0	▲ 4,359
【受取会費】					
正会員受取会費	65,653,400	66,001,300	65,952,969	▲ 347,900	▲ 299,569
【事業収益】					
編集出版事業収益	12,491,700	12,882,100	12,795,477	▲ 390,400	▲ 303,777
研究会事業収益	31,862,000	34,308,000	7,824,100	▲ 2,446,000	24,037,900
表彰事業収益	8,200,000	8,200,000	8,300,000	0	▲ 100,000
【受取寄付金】					
受取寄付金	6,350,000	6,290,000	9,055,728	60,000	▲ 2,705,728
【雑収益】					
受取利息	2,813	3,265	827	▲ 452	1,986
雑収益	50,000	170,000	8,000	▲ 120,000	42,000
懇親会参加料収益	1,510,000	4,670,000	1,421,000	▲ 3,160,000	89,000
経常収益計	126,928,413	133,333,165	106,195,404	▲ 6,404,752	20,733,009
(2) 経常費用					
【事業費および管理費】					
編集出版事業費	25,110,347	25,922,481	23,973,937	▲ 812,134	1,136,410
研究会事業費	32,647,544	33,185,624	7,497,518	▲ 538,080	25,150,026
表彰事業費	13,909,277	13,880,777	12,558,619	28,500	1,350,658
給料手当	28,224,348	31,943,412	29,894,534	▲ 3,719,064	▲ 1,670,186
アルバイト費	2,510,000	2,490,000	2,484,999	20,000	25,001
退職給付費用	5,900,000	2,600,000	2,607,359	3,300,000	3,292,641
その他人件費（福利厚生費）	5,984,425	6,140,038	5,868,736	▲ 155,613	115,689
会議費	1,335,000	1,335,000	735,551	0	599,449
旅費交通費	3,865,000	3,505,000	968,026	360,000	2,896,974
通信費	1,346,500	1,745,515	1,105,783	▲ 399,015	240,717
什器備品費	700,000	500,000	739,960	200,000	▲ 39,960
事務用品・リース費	2,000,000	2,000,000	1,583,075	0	416,925
水道光熱費	290,000	290,000	176,759	0	113,241
事務所賃借料	4,826,890	4,448,400	4,393,400	378,490	433,490
諸謝金	1,200,000	1,200,000	1,210,000	0	▲ 10,000
懇親会費	3,170,000	7,640,000	2,773,963	▲ 4,470,000	396,037
雑費（税・手数料・会費・IT）	5,301,500	5,144,500	6,139,823	157,000	▲ 838,323
経常費用計	138,320,831	143,970,747	104,712,042	▲ 5,649,916	33,608,789
当期経常増減額	▲ 11,392,418	▲ 10,637,582	1,483,362	▲ 754,836	▲ 12,875,780
2. 経常外増減の部					
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
一般正味財産増減額	▲ 11,392,418	▲ 10,637,582	1,483,362	▲ 754,836	▲ 12,875,780
一般正味財産期首残高	306,180,554	304,697,192	304,697,192	1,483,362	1,483,362
一般正味財産期末残高	294,788,136	294,059,610	306,180,554	728,526	▲ 11,392,418
II 指定正味財産増減の部					
【特定資産運用益】野依賞基金					
特定資産受取利息	50	50	47	0	3
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	0
一般正味財産への振替額	▲ 4,000,000	▲ 4,000,000	▲ 4,001,631	0	1,631
当期指定正味財産増減額	50	50	▲ 1,584	0	1,634
指定正味財産期首残高	6,285,476	6,287,060	6,287,060	▲ 1,584	▲ 1,584
指定正味財産期末残高	6,285,526	6,287,110	6,285,476	▲ 1,584	50
【特定資産運用益】Mukaiyama Award基金					
特定資産受取利息	100	100	75	0	25
受取寄付金	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	▲ 1,200,000	▲ 1,200,000	▲ 879,297	0	▲ 320,703
当期指定正味財産増減額	▲ 1,199,900	▲ 1,199,900	▲ 879,222	0	▲ 320,678
指定正味財産期首残高	6,382,420	7,261,642	7,261,642	▲ 879,222	▲ 879,222
指定正味財産期末残高	5,182,520	6,061,742	6,382,420	▲ 879,222	▲ 1,199,900
III 正味財産期末残高	306,256,182	306,408,462	318,848,450	▲ 152,280	▲ 12,592,268

※ここでの前年対比は令和2年度期首予算（新型コロナの影響を含まない、例年の予算）

表 7・2 令和 3 年度正味財産増減予算書内訳表 (1 / 2)

(令和3年1月1日から令和3年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1 編集・出版	公2 研究会	公3 表 彰	公益事業共通			
1 【一般正味財産増減の部】							
2 1. 経常増減の部							
3 経常収益計	12,494,700	30,624,500	13,000,000	51,866,186	5,559,602	13,383,425	126,928,413
4 特定資産運用益	3,000	2,500	800,000				805,500
5 編集出版特定資産受取利息	3,000						
6 研究会特定資産受取利息		2,500					
7 表彰特定資産受取利息			800,000				
8 退職特定資産受取利息						3,000	3,000
9 受取会費				51,866,186	1,969,602	11,817,612	65,653,400
10 個人会員費受取会費				26,773,337	1,016,709	6,100,254	33,890,300
11 法人会員費受取会費				23,147,000	879,000	5,274,000	29,300,000
12 団体会員費受取会費				126,400	4,800	28,800	160,000
13 学生会員費受取会費				1,819,449	69,093	414,558	2,303,100
14 事業収益	12,491,700	29,472,000	7,000,000		3,590,000		52,553,700
15 編集出版事業収益	12,491,700						12,491,700
16 会誌事業収益	3,726,000						3,726,000
17 広告事業収益	8,265,000						8,265,000
18 別冊事業収益	35,000						35,000
19 会誌関係雑収益	70,000						70,000
20 単行本印税収益	150,000						150,000
21 複写権使用料収益	245,700						245,700
22 研究会事業収益		29,472,000			2,390,000		31,862,000
23 シンポジウム事業収益		15,450,000					15,450,000
24 講習会事業収益		9,805,000					9,805,000
25 懇談会事業収益		3,967,000			240,000		4,207,000
26 見学会事業収益		250,000			2,150,000		2,400,000
27 表彰事業収益			7,000,000		1,200,000		8,200,000
28 企業冠賞事業収益			7,000,000				7,000,000
29 研究企画賞事業収益					1,200,000		1,200,000
30 その他表彰事業収益							0
31 寄付金収益		1,150,000	5,200,000				6,350,000
32 受取寄付金		1,150,000	5,200,000				6,350,000
33 雑収益						1,562,813	1,562,813
34 受取利息						2,813	2,813
35 雑収益						50,000	50,000
36 懇親会参加料収益						1,510,000	1,510,000
37 経常費用	45,106,861	54,877,348	19,776,405		5,474,151	13,086,066	138,320,831
38 事業費	45,106,861	54,877,348	19,776,405		5,474,151		125,234,765
39 編集出版事業費	25,110,347						25,110,347
40 印刷製本費	11,645,991						11,645,991
41 用紙費	3,747,741						3,747,741
42 原稿料・校正費	628,000						628,000
43 編集費	843,715						843,715
44 送達費	7,049,475						7,049,475
45 別冊作成費	269,325						269,325
46 電子出版費	926,100						926,100
47 研究会事業費		30,238,544			2,409,000		32,647,544
48 シンポジウム費		16,486,200					16,486,200
49 講習会費		6,631,314					6,631,314
50 懇談会費		3,659,430			259,000		3,918,430
51 見学会事業費		250,000			2,150,000		2,400,000
52 研究会議費		508,600					508,600
53 事務委託費		2,493,000					2,493,000
54 支払寄付金		210,000					210,000
55 表彰事業費			13,824,477		84,800		13,909,277
56 表彰事業費			2,802,477				2,802,477
57 企業冠賞費用			5,822,000				5,822,000
58 研究企画賞費					84,800		84,800
59 国際賞費用			4,000,000				4,000,000
60 Mukaiyama Award事業費			1,200,000				1,200,000
61 給料手当	9,875,699	11,289,739	2,822,435		1,414,040		25,401,913
62 アルバイト費	975,888	1,115,444	278,861		139,807		2,510,000
63 退職給付費用	2,064,410	2,360,000	590,000		295,590		5,310,000
64 その他人件費 (福利厚生費)	2,093,950	2,393,770	598,443		299,820		5,385,983
65 会議費	240,000	360,000	80,000		40,000		720,000
66 旅費交通費	618,000	927,000	206,000		103,000		1,854,000
67 通信費	360,000	540,000	120,000		60,000		1,080,000
68 什器備品費	210,000	315,000	70,000		35,000		630,000
69 事務用品・リース費	600,000	900,000	200,000		100,000		1,800,000
70 水道光熱費	87,000	130,500	29,000		14,500		261,000
71 事務所賃借料	1,448,067	2,172,101	482,689		241,344		4,344,201
72 雑費 (税・手数料・会費・IT)	1,423,500	2,135,250	474,500		237,250		4,270,500

表 7・3 令和 3 年度正味財産増減予算書内訳表(2/2)

(令和3年1月1日から令和3年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1 編集・出版	公2 研究会	公3 表 彰	公益事業共通			
73 管理費						13,086,066	13,086,066
74 給料手当						2,822,435	2,822,435
75 退職給付費用						590,000	590,000
76 その他人件費（福利厚生費）						598,442	598,442
77 懇親会費用						3,170,000	3,170,000
78 会議費						615,000	615,000
79 旅費交通費						2,011,000	2,011,000
80 通信費						266,500	266,500
81 什器備品費						70,000	70,000
82 事務用品・リース費						200,000	200,000
83 水道光熱費						29,000	29,000
84 事務所賃借料						482,689	482,689
85 諸謝金						1,200,000	1,200,000
86 雑費（税・手数料・会費・IT）						1,031,000	1,031,000
87 当期経常増減額	▲ 32,612,161	▲ 24,252,848	▲ 6,776,405	51,866,186	85,451	297,359	▲ 11,392,418
88 2. 経常外増減の部							
89 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
90 計上外費用	0	0	0	0	0	0	0
91 当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
92 3. 一般正味財産増減額							
93 一般正味財産期首残高							306,180,554
94 一般正味財産期末残高							294,788,136
95 当期一般正味財産増減額							▲ 11,392,418
96 【指定正味財産増減の部】							
97 1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金							
98 指定正味財産運用益			50				50
99 特定資産受取利息			50				50
100 受取寄付金			4,000,000				4,000,000
101 一般正味財産への振替額			▲ 4,000,000				▲ 4,000,000
102 指定正味財産期首残高			6,285,476				6,285,476
103 指定正味財産期末残高			6,285,526				6,285,526
104 2. Mukaiyama Award基金							
105 指定正味財産運用益			▲ 1,199,900				▲ 1,199,900
106 特定資産受取利息			100				100
107 受取寄付金							0
108 一般正味財産への振替額			▲ 1,200,000				▲ 1,200,000
109 指定正味財産期首残高			6,382,420				6,382,420
110 指定正味財産期末残高			5,182,520				5,182,520
111 【正味財産期末残高】							
112 正味財産期末残高							306,256,182

報告 4 永年会員昇格者

会員規程第 4 条により、満 75 歳で 20 年連続在籍者を令和 3 年度より永年会員とする（入会順；敬称略）。

北 泰行 尾島 巖 遠藤 勝介 勝村 成雄 竹林 絜矩 野出 學
井澤 邦輔 木曾 良明 上村 大輔

以上 9 名

その他議案があれば挙手の上ご報告ください。

以上

